

# 商店建築

Monthly Magazine  
of commercial architecture design,  
shop design & interior design  
Shotenkenchiku-sha Co., Ltd.

'02-07  
SHOTENKENCHIKU  
Jul. 2002 Vol. 47 No. 07

特集①  
新しい商業コンセプトとデザイン  
特集②  
コマーシャル・オフィス  
設備特集  
ショップの空調設備Q&A



白と黒のギャラリー  
ヘアサロン

## マサト パリ

東京都港区南青山5丁目3-20

設計/シエールージュ クレアシオン (c.r.e.)  
アンリ・ゲイダン・金子文子  
施工/ジャパリッシュ

Hair Salon MASSATO PARIS,  
Tokyo

Designer ciel rouge creation /  
Henri Gueydan-Fumiko Kaneko

### ノワール&ブラン——白黒の世界

パリを本拠地にフランスでメディアティックに活躍する日本人ヘアデザイナーの日本初のサロン。的確なカットテクニックでフランス人から絶対的な信頼を寄せられているパリの3店舗を訪ねることからわれわれのデザイン構想は開始された。一方は東京・南青山というコンテキスト。今や世界的に注目されるデザイナー、建築家がしのぎを削るデザイナー等々である。

敷地は6店舗のファサードが同じ表情で連続する3棟の建築である。店舗サインも外壁に突出させないという厳格なコントロールの下、カーテンウォールで区分された全面ガラスの開口が唯一、グティックコンセプトを表現するファサードサインに変わる舞台装置ととらえた。「マサト パリ」のデザインイメージを印象づけ、ファサード空間にある種の緊張感を与える装置としてのブラックフレームのアートプレゼン台が誕生した所以である。

① 装置としての階段の再構築——3層をつなぐ既存の踊り場付きの階段を外壁部に移設、直線階段で一直線に納めた。3分の1近くが取



1階レセプションカウンターと階段を正面に見る

撮影/石井紀久

られていた階段区画を省スペース化し、カットスペース、テクニカルスペースの確保となった。

② 白い空間における黒の役割——白の空間は無限と永遠の幅を表出する。装置としての黒はオブジェとしての役割を担い、緊張感のある空間を表出させる。

③ バリエーションあるアルコーブ＝マサトギャラリー——施主のコレクションであるヴィンテージオブジェやガラス器を展示するギャラリーとしてのアルコーブ棚は、さまざまなサイズにマッチするようにバリエーションあるデザインとした。

④ 斜めに設置したカット台、鏡位置による





1階待合からカット台を見通す。イスやシャンプー台はフランスより取り寄せた

ミステリアスな3次元空間の演出——1階はカット台を斜めに設置することで空間に幅を持たせ、向かいに公園のある敷地のコンテキス

トを何倍にも増加させる。

⑤ 白のオブジェ＝化粧室の特注シンク——  
天板がそのまま突出してシンクを形づくる。

真四角、長方形の2種類タイプ。円＋正方形のデザインモチーフをここでも応用した。

(金子文子・アンリ・ゲイダン)

#### 取材ノート

フランス・パリでヘアアーティストとして活躍するマサト（伊藤正人）氏のサロンが「マサト パリ」である。マサト氏は25年前に渡仏、最初の10年はスタジオワークを中心に活動していた。「特に雑誌の仕事は、ファッ

ション、メイク、ヘアスタイリングが、それぞれ同等に仕事をし、コラボレートするという関係ですから、ファッションをトータルで考えるマサトにとっては魅力あるものなのです」。「マサト パリ」のディレクター・セネラルマネジャー・高岡正信氏は言う。93年に

はパリ7区ラスバイユ通りにサロンをオープンし（現在は5区、21区、9区の3店舗）。女優や映画関係者などのヘアスタイルも手掛けるようになる。

数年前からシェウ・ウエムラ氏の仕事でヘアを担当するようになり、「互いに感性を磨

2階ネイルカウンター越しに開口部を見る



「マサト、店舗内装を築きあげた」(高岡氏)  
二人のアーティストは、2年ほど前からビジネスパートナーとして東京出店を計画していた。「ファッションと同様、ブランドビジネスですから、きちんとしたイメージを打ち出したい。そのため地味や店づくりにはかなりこ

にわりました」。店内のデザインにはマサト氏の意向がかなり反映されているという。また完全な分業システムを前提としたゾーニングがなされ、シャンプー、カラー・パーマは外部からの視線を隠す2階と地下にそれぞれ女性用、男性用に振り分け、「見せ場」とな

るカット、フローは通りに面した1階でカフス越しに見せている。客層は年齢20代後半から30代前半がメイン、8割ほどが女性客だが、以外に男性客の定義がいろいろ。まったく新規の店舗のため、200人からのオ



ネイルカウンターを過ぎる階段方向を見る



2階壁面側のカラーブースを見る

ーディションで選んだというスタイリスト、テクニシャンは現在11人。マサト氏本人も月1回、1週間は訪れ、スタイリングはもちろん後進のスタイリストの育成にも努める。「パリとの交流はこれから増やしていくし、『シェウウエムラ』とのコラボレーションという方向性もあるでしょう。どちらかと言えば閉鎖的な美容業界で、インターナショナルな感覚を持った自由なスタイルを確立できるスタイリストを増やしていけるようなインキュベーターになればいいと考えています」(編集部)

#### 「マサト パリ」データ

発注者：㈱マサトパリ

工事種別：内装のみ 新築

床面積：地下1階322.98㎡ 1階291.03㎡ 2階287.68㎡

会計901.69㎡

工期：2002年1月15日～3月21日

施工協力：照明器具/マックスレイ

営業内容

開店：2002年4月4日

営業時間：午前11時～午後9時 日曜・祝日/午前10

時～午後8時

定休日：火曜日

電話：(03) 5468-3880

経営者：西村村秀

従業員：24人

客席数：カット/17席 シャンプー/11席 その他/9席

主なサービスと料金：カット7000～(男性6000～)

パーマ8000～ カラー6000～

主な仕上がり材料

床：1階/モルタル+捨て合板下地フローリング貼り

2階、地下1階/バサモルタル下地天然スレート貼り

120専用保護塗布

壁：LGS組みPBI12.5下地AEP 一部ガラスFIX+ス

チールガラリ

天井：LGS組みPBI12.5下地AEP

家具・什器：(1階)ミラー什器/スチール焼き付け

塗装(シルバー)ミラー部欠き込み乳半アクリル

FIXスリムランプ内蔵 レセプションカウンター/木

下地ラッカー塗装 天板・人造大理石(コ

ーリアン/MRC・デュボン) (2階)ネ

イルパーカウンター/木下地ウレタン塗装

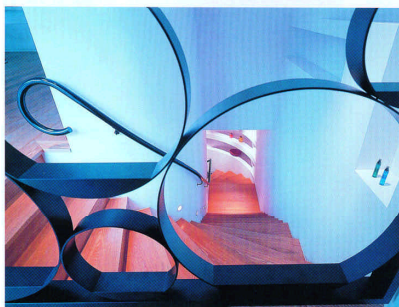
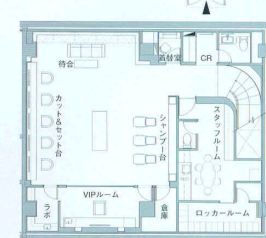
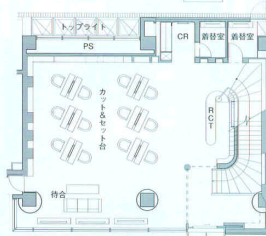
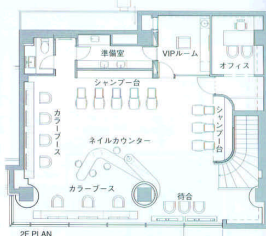
天板・ポリエステル樹脂成形板(トット

ーン) デ스플레이台/スチール鋼板焼

き付け塗装仕上げ



1階の入り口扉



1階手すり越しに階段を見下ろす



地下1階をのぞく 奥壁面はトップライトにカーブ